

玉永寺通信

2008.1

賀正
第32号

発行：富山市水橋小出 52 玉永寺

編集：石川正穂



謹んで新春のお祝いを申し上げます

昨年は9月中旬から年末まで、みなさまのお宅で報恩講を参らせていただきました。本山・別院・玉永寺の護持に御協力をいただきましたことを、心から御礼申し上げます。

総曲輪の東別院法要パンフレットを同封しました。みなさまのおかげで別院修復事業が完成し、今年3月から6月にかけてさまざま記念事業が催されます。私も教化部会長として行事運営に関わっております。富山教区あげでの取り組みに参加いただきますよう、お願い申し上げます。

昨年の世相を表わす漢字が『偽』になりました。身近な食品から政界、スポーツ選手にまで、次々と『偽』が発覚して、何を信じたら良いのか、わからなくなった一年」というのが、選ばれた理由です。しかし、社会の真実の姿が明らかになった年であったとも言えます。

仏の座は泥沼に咲く蓮華です。濁った現実社会のただ中でこそ輝く浄土の教えを、今年も大切にしていこうと思います。

玉永寺しゃしん日誌

10月20日・21日 玉永寺報恩講

富山新聞の取材を受け、左のような記事にさせていただきました。

「弥陀佛本願念仏 邪見驕慢悪衆生 信楽受持甚以難 難中之難無過斯」

「お念仏を信じる心は、おごり たかぶり あなどる 悪い人(悪衆生)には、とても

持てるものではありません。信心をいただくほど難しいことはありません。」という意味になります。この「悪衆生」を他人のことだと読んでいました。しかし、それは私への、如来からの「念仏を信ぜよ」との呼びかけなのだを教えていただきました。 今回の報恩講にあたって、立山町辻の柳瀬ミツエさんから本堂椅子の座布団を20枚いただきました。御礼申し上げます。



とやま 民俗歳時記

富山市水橋小出の真宗大谷派玉永寺の報恩講にお邪魔した。石川正穂住職が「報恩講はやはり一年の集大成の日であり、教えにあらためてあつ日です」と話すように、真宗門徒にとって最大の行事である。

正信偈に続いて和讃が読誦される。阿弥陀様の前は、花が二つ、ろうそく二本の五具足とい

報恩講 下



玉永寺で行われた報恩講 一富山市水橋小出

う格式の高い荘厳であり、いか 一番大事な報恩講の中身です」と話す。

親縁鳥取王人にて「海」の日

「会うではなく「会う」。「会」は会ってうれい人もいれは、避けたい人もいる。人間の都合が入っている。一方「会う」には、人間の計画、予定ではなく、遇って初めてうなずかせてもらうそんな事件」であろう。

卑湿の淤泥に生ず

阿弥陀様がお立ちになっている師の埴山法雄師(砺波市)は、石川住職が報恩講の案内に記した「宗祖親鸞聖人に遇う」という一節を取り上げ「これがろどうした私たちの根っこ部分こそ、親鸞聖人は大事にされたのだと説く。

「我々のほんまの腹の中は自分ですら分からんもんです」。正信しみじみと響いてくるということもある。しかし我々はなかなか首を縦に振らんもの。そんな人生の中で我々は、まさかに出会う。あてにしていたものが崩れていく苦しみの中で、浄土の因を見出していくのです」。

法話では、能登のある老妻の歌が紹介された。「われよしと おもこのころは ずかしさでとられてる このころかな」 わが身をしっかりと見据えた念仏者の力があふれる。「あてにならんものをあてにしていたなあ、ということば、頭や

冬型が強まり、稲刈り後の田んぼに冷たい風が吹いていた。いかにも「ホンコサマ」の季節到来といった感じである。何百年に渡って先祖も皆、寒風の中、ホンコサマに足を運んだのだらうと思わせる。帰る道すがら、吹き付ける雨風とはうらはらに、胸のうちはほかほかと温かかった。

12月1日さようならと感謝の集い

合唱、ピアノ、鍵盤ハーモニカ、手品、漫才など、子ども会による一芸披露の後、老人クラブの方々とみんなで小さな編み籠づくりをして、炊き込みご飯、豚汁をいただいで楽しみました。



今年の行事予定

修正会	1月1日
初お講	2月28日
春の彼岸	3月20日
永代祠堂経	6月7日・8日
玉永寺旅行会	6月14日・15日
お盆暁天講座	8月15日・16日
秋の彼岸	9月23日
仏教婦人会	10月20日
報恩講	10月20日・21日
ごまんさん	11月28日
玉永寺子ども会	毎月第2土曜日
玉永寺同朋の会	毎月第4土曜日



おしらせ

玉永寺旅行会について

二年に一度の玉永寺旅行会の日程を、6月14日(土)～15日(日)に決定しました。経費などについては、検討中ですが、日程中に納骨、帰敬式ができる内容にします。

詳細が決まり次第、各地域の委員の方々を通じて募集を開始します。

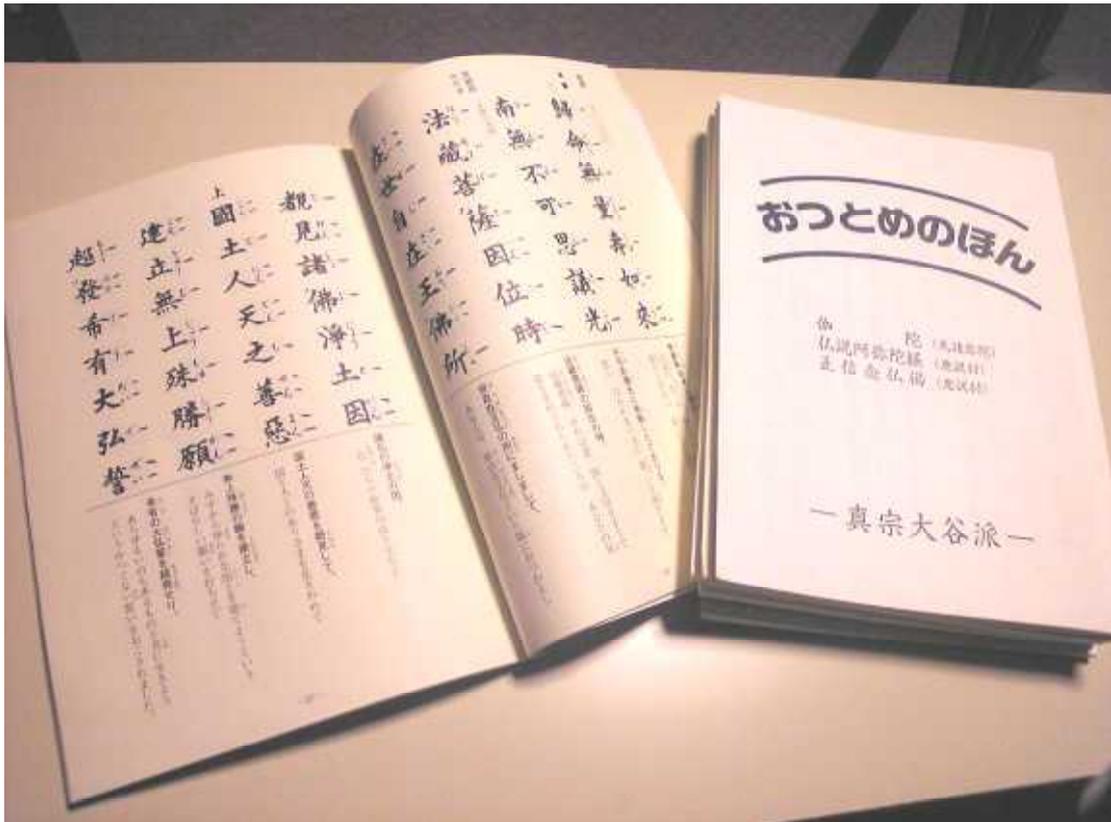
ハンセン病問題基本法について

療養所に暮らすハンセン病回復者の生活及び医療を保障する「ハンセン病問題基本法」の制定を目指す運動が始まっています。

真宗大谷派でも署名活動を行っています。お願いに伺った際にはどうぞ、御協力をお願い申し上げます。

「大谷派ハンセン病問題全国交流集会」の開催要項を同封しました。私も参加しますので、一緒にいただければ幸いです。関心のある方はどうぞ、ご一報ください。

どうぼう 玉永寺同朋の会に 来られんか！



冬季休会となっております同朋の会を **3月22日(土)** から再開します
 テキストは「おつとめのほん」 正信偈について住職がわかりやすく解説いたします
毎月第4土曜日 午後2時から4時まで 会費は500円です
 今年度より 足が痛くならないように 椅子とテーブルを使うことにしました
 初参加の方 大歓迎です！ 楽しい座談会に ぜひ ご参加ください！！

玉永寺通信
 発行所 富山市水橋小出52
 真宗大谷派玉永寺
 TEL 076(478)0846
 インターネット 玉永寺ホームページ
<http://www.gyokueiji.net>



2008年(平成20年)年忌表
 1周忌 2007年(平成19年)
 3回忌 2006年(平成18年)
 7回忌 2002年(平成14年)
 13回忌 1996年(平成8年)
 17回忌 1992年(平成4年)
 23回忌 1986年(昭和61年)
 27回忌 1982年(昭和57年)
 33回忌 1976年(昭和51年)
 50回忌 1959年(昭和34年)